

Ⅳ 就職・進路

1 就職・キャリア支援について

- 1) キャリア支援について
- 2) 就職活動について
- 3) 就職・キャリア支援
- 4) 就職への経路
- 5) 大学に届く求人票等の扱い
- 6) 就職と実習・資格
- 7) 進路希望・求職登録
- 8) 就職関係書類
- 9) キャリア支援センターの利用
- 10) 障害のある学生の方へ
- 11) 学外の相談窓口

1. 就職・キャリア支援について

1) キャリア支援について

「充実した学生生活を送ること」、実は就職活動の基本はここにあります。就職活動の際、一番問われることはみなさんが「どういう学生生活を送り、その結果何を得てきたか」です。全ての基本は「学生生活そのもの」にあることを自覚し、しっかりと4年間を過ごしてください。

就職活動は「学生自身が自ら行う」ものです。しかしながら、高度化・複雑化する今の就職を取り巻く状況の中では、自分一人で突破するのは大変です。そのため、本学では就職活動の具体的な方法、対策などを就職ガイダンスや就職活動対策セミナー等を通じてしっかりと指導しています。

キャリア支援センターでは、就職は勿論のこと、進学などあらゆる進路の相談に応じていますので、入学時から積極的に活用し、希望の進路を目指してください。

①さまざまなキャリア支援

本学では、さまざまなキャリア支援を行っており、毎年4月には就職ガイダンスを行っています。このガイダンスは全員参加が原則のものです。必ず参加してください。

加えて、3年次より自由参加型（事前申込必要）の就職活動対策セミナー等を実施しており、就職活動の成功を支援するプログラムが満載です。是非、積極的に参加してください。

キャリア支援センターは、就職活動中の学生だけを対象にした部署ではありません。自らのキャリア形成のために、1年次から積極的に活用してください。

②インターンシップを始めとするキャリア形成支援

インターンシップとは、「学生が、その仕事に就く能力が自らに備わっているかどうかを見極めることを目的に、自らの専攻を含む関心分野や将来のキャリアに関連した就業体験を行う活動」です。

本学では、3年次に正課科目インターンシップ（選択）を開講しています。低学年は正課外ですが、「企業・業界・仕事を具体的に知る場」や「自らのキャリア（職業観・就業観）を考える場」になることから積極的に取り組んでいます。

2) 就職活動について

民間企業への就職を希望する場合は3年次の3月から、福祉施設や幼稚園、保育所等への就職を希望する場合は4年次8月頃から具体的な就職活動が始まります。しかし、早期化の傾向もあり、実際はそれ以前に始まります。

公務員・教員を目指す学生は、2年次、できれば1年次から公務員採用試験対策や、教員採用検査対策の学習に取り組むことが必要です。また、民間企業や福祉施設などを志望する学生は、多くの企業や施設で行われている筆記試験（適性検査や一般常識など）への対策・準備が必要です。学内でも教員採用検査対策講座や公務員採用試験・SPI試験対策講座を行っていますので積極的に参加してください。

冒頭で記載した通り、就職活動の基本は「充実した学生生活を送ること」です。一日一日を大切に大学での生活を過ごしてください。

3) 就職・キャリア支援

①キャリア教育科目

本学では、1年次～4年次まで体系立ててキャリア教育科目を開講しています。

特に、大学1年次～3年次に開講される「キャリアデザインⅠ」「キャリアデザインⅡ」「キャリアデザインⅢ」「キャリア演習Ⅰ」「キャリア演習Ⅱ」は必修科目として全学生に履修を義務付け、「就業力特別講義Ⅰ」「就業力特別講義Ⅱ」は選択必修科目として履修ができます。

キャリア意識醸成のための座学だけでなく、社会人基礎力を養成するためのグループワークや就職活動に向けた履歴書・面接対策等も取り入れた内容となっています。

②就職ガイダンス

現在の就職を取り巻く状況、就職活動のスケジュール、今やるべきことなど必要な準備について伝えます。進学してもいずれは就職することになります。また、公務員や教員になることも特別なことではなく一つの「就職」です。進学希望者や公務員・教員志望者も含めて全員必ず参加してください。

③就職活動対策

年々高度化・複雑化する現在の就職状況の中、独力だけでは突破は難しくなっています。

キャリア支援センターでは、就職活動の成功を支援するプログラムとして3年次より就職活動を知り、実践していくための各種対策セミナーや学内での企業研究会など、対策を行っています。特に3年次の3月から一般企業等の就職活動が解禁となり本格化していきますので、これらの対策に積極的に参加するようにしてください。

④就職相談、進路相談

就職活動に関する相談を受けます。履歴書・エントリーシートの添削、面接練習の実施など、就職試験突破のためにさまざまなアドバイスを行っています。

また、進学など進路に関するあらゆる相談にも応じています。学年問わず1年次から相談をお受けします。

⑤学内企業研究会

一般企業から福祉分野まで様々な企業・団体が業界や事業内容、仕事内容について学生を対象に学内で説明をする研究会です。

⑥学生ポータルサイト「就職支援」

学生ポータルサイトの「就職支援」には、大学に届く求人票や企業情報、学外でのイベント情報、みなさんの先輩が就職試験を受験した時の受験報告情報などを登録していますので、積極的に活用してください。

4) 就職への経路

公務員・公立学校教員など公務員採用試験や教員採用検査を突破して就職していくものの他に就職には次の経路があります。

①大学への求人によるもの

一般企業などの求人先から求人票や募集要項が大学に届きます。これらの求人書類は学生ポータルサイトや掲示で公開されるので、求人書類に記載された方法により就職活動を始めます。

- イ. 学校推薦……求人側から本学に一定の人数を推薦するようあらかじめ指定される場合があります。希望者は指定期日までに学校推薦申込書と必要書類を添えてキャリア支援センターに推薦を依頼します。提出書類、面談などの総合判断により学内選考を行い、後日選考結果が本人に伝えられます。進路希望・求職登録（後述）に登録していないと推薦の対象とはなりませんので、必ず登録してください。なお、選考にあたっては求人側が求める条件を充足できるかどうか、また成績や学習態度なども参考にします。
- ※学校推薦で内定した場合には辞退できません。

- ロ. 自由応募……本学に求人案内はありますが、応募希望者は求人先に自由に応募することができます。なお、自由応募であっても「大学一括提出」と記載されている求人の場合、指定されている期日までに応募書類をキャリア支援センターに提出することが必要です。

②インターネットによるエントリー

多くの民間企業は、効率化や低コスト化のためにインターネット上のエントリーを行っています。また、各大学に求人票を出さずに各種就職情報サイトからエントリーを受け付けているケースも数多くあります。一般企業への就職を希望する場合、大学に届く求人を待っているだけではなく、3年次になったら各種就職情報サイトを利用して求人情報等を確認し、エントリーをする必要があります。インターネットの活用なくして現在の就職活動は行えません。

③その他自己開拓

本学に寄せられる求人依頼によらず、上記のインターネットによるエントリーの他、新卒応援ハローワーク（後述）、会社訪問、求人情報誌、新聞求人などを利用し、自ら企業に働きかけるものです。一般企業に限らず、求人先によっては各大学に求人票を出さず、独自の広報（就職情報誌・企業セミナー・官庁広報誌など）で採用活動を行う場合もあります。志望する業界や企業などがある場合は積極的に企業や各種機関から情報をとり、活動することが必要です。

④企業・施設現場からのリクエスト

本学の教育科目に含まれる実習などでお世話になった実習先から、学生の氏名を指定してリクエストされる場合があります。

実習に臨む学生の実習態度や実習内容から学ぶ力量は、単に学生個人の評価にとどまらず、大学全体の評価や就職に直結するものになる可能性があります。つまり、実習は、それ自体大切な教育の営みなのですが、「就職の前哨戦」でもあるのです。実習に行く学生は、そのことを自覚し、しっかり取り組んでください。

また、雇用条件をきちんと確認せずに入社を約束し、後にトラブルになるケースもあります。こうした話をいただいたときには、選考を受ける前に必ずキャリア支援センターに相談してください。

5) 大学に届く求人票等の扱い

①求人票

- ・学生ポータルサイトに登録していますので、いつでもパソコンやスマートフォンで閲覧できます。また、求人票の一部は掲示もしています。

②企業等のパンフレット

- ・キャリア支援センター内のパンフレットファイルにファイリングしています。

③学外でのイベントや企業説明会等の案内資料（インターンシップを含む）

- ・学生ポータルサイトに登録し、キャリア支援センター内のインターンシップファイルへのファイリングや掲示もしています。

④応募したい場合や企業等の内容を詳しく知りたい

- ・インターネットなどで調べる他、キャリア支援センター内のパンフレットファイルや皆さんの先輩たちが受験した際の受験報告書なども確認してください。

⑤学校推薦の場合

- ・学校推薦申込書と必要書類を指定期日までにキャリア支援センターに提出します。提出書類、面談などの総合判断により学内選考を行い、後日、選考結果が本人に伝えられます。そして、学校推薦の場合は、同時に複数の求人に応募することはできません。また、選考途中や採用内定後に辞退することもできません。応募する前に本当に勤めたい企業・施設なのか慎重に検討する必要があります。

⑥自由応募の場合

- ・求人票の指示に基づき順次活動をすすめてください。ただし、「大学一括提出」と記載されている求人については、指定期日までにキャリア支援センターに応募書類を提出することが必要です。採用試験を受験する場合は、キャリア支援センターにその旨を必ず申し出てください。

6) 就職と実習・資格

大学で行う各種の実習で現場に出向くことは、就職と密接に関わります。

実習に臨む学生の実習態度や実習内容から学ぶ力量は、単に学生個人の評価にとどまらず、大学全体の評価や、就職に直結するものになる可能性があります。つまり、実習は、それ自体大切な教育の営みなのですが「就職の前哨戦」でもあるのです。

- ・実習時に必要とされる知識、学びの水準をいかに体得しているかがあなたの評価につながります。
- ・社会の中での個人という自覚、的確で主体的・積極的な自己表現、それに見合った社会常識に基づく対人関係技能があなたの評価につながります。そしてこれらの評価は、実は社会や現場で働く社会人を想定した評価なのだというのを、これから就職活動に臨むみなさんに意識しておいていただきたいと思います。
- ・実際の仕事に正面から向き合い、誠実にその仕事を成し遂げようとする姿勢、学ぼうとする謙虚さや正直さがあなたの評価につながります。

これらの評価は、その職場における求める人物像の評価とも受けとめることができるものであり、就職活動の際に意識することが大切です。また、大学の授業の中で学外講師の方が来られる場合は、その学習態度や日常生活も評価の対象となります。是非、意識しておきたいものです。

注意していただきたいことは、「資格」取得を確実なものにすることです。とりわけ採用が「資格所持」を条件にしている場合、資格試験に落ちることで、内定取り消しとなる場合もありますので気をつけましょう。

7) 進路希望・求職登録

卒業後の進路予定にかかわらず、卒業予定者全員に登録を求めています。進学・留学希望、非就職希望であっても3年次後学期に全員登録の義務があります。

特に就職活動で大学から支援を受けるためには必ず登録しなければなりません。また、未登録の場合、大学に届いた学校推薦の求人に応募する資格がありません。

8) 就職関係書類

①訪問確認票

企業セミナー、合同企業説明会・企業（施設）訪問・採用試験などで、授業を欠席する場合は、キャリア支援センターで訪問確認票を活動後に受け取り、確認印を受けます。これを担当教員に欠席理由として欠席届と一緒に提出します。特に、各種資格試験科目は厳しい欠席制限を設けていますので、それを越えないよう注意してください。

なお、就職活動に関わる欠席は公欠になりません。「理由のある欠席」とみなされます。欠席は欠席ですので、出欠管理は自己責任でしっかりと行ってください。

②進路内定届

求人先から採用内定を獲得した場合は、すみやかにキャリア支援センターに届け出てください。進学が決まった等、卒業後の進路が決まった場合も同様にキャリア支援センターに必ず届け出てください。

③就職試験受験報告書

採用に関連した試験や面接を受けた場合は、可否にかかわらず報告書を作成し、後輩のためにキャリア支援センターに提出してください。

9) キャリア支援センターの利用

①キャリア支援センター・キャリア支援資料室

キャリア支援センターには常時職員がおり、就職や進路に関わる相談に応じています。1年次から積極的に利用してください。

キャリア支援資料室には、現在の就職試験で多くの企業や施設で行われている適性検査（SPI 3・CAB・GAB・玉手箱など）や時事問題、一般常識などの筆記試験の対策本があり、学生に貸出しています。その他、就職に関する書籍や雑誌、新聞各紙など、学生が「自ら行動できる」力を身に付けるための材料を豊富に取り揃えています。また、皆さんの先輩が企業や施設などを受験した時の受験報告書もありますので参考にしてください。さらに、就職活動専用のパソコンを設置しており、希望者は自由に使用できます。

②求人票ファイル・掲示板

求人票ファイルには企業・施設などの求人票や募集要項がファイルされています。受付順に整理していますので手に取って確認することができます。また、企業セミナーや合同企業説明会など、企業・施設の採用活動についての情報は常時掲示板に掲示されています。

10) 障害のある学生の方へ

キャリア支援センターでは、障害のある学生の支援も積極的に行っています。

障害のある学生の方は、障害の状況、希望する進路などを1年次のうちからキャリア支援センターにお伝えください。

11) 学外の相談窓口

①幅広い求人情報を手に入れるために是非活用したい・・・

【札幌新卒応援ハローワーク】

住所：札幌市中央区北4条西5丁目 大樹生命札幌共同ビル9階（大卒等窓口）

電話：(011) 233-0222

学生のために設けられた求人情報提供機関です。希望者は、同センターに登録手続きをしてか

ら各種サービスを利用します。特に全国の求人情報が入手できるので、地元での就職を考える方は必ず利用してください。なお、各都道府県には同様の求人情報提供機関があります。

【ジョブカフェ北海道（北海道就業支援センター）】

住所：札幌市中央区北4条西5丁目 大樹生命札幌共同ビル7階

電話：(011) 209-4510

ジョブカフェは都道府県が主体的に設置する、若者の就職支援をワンストップで行う施設です。就職を目指す大学生等を対象とする様々な事業を実施しています。是非、活用してください。

②事前に福祉施設の求人動向を知りたいと思ったら・・・

【社会福祉法人 北海道社会福祉協議会 北海道福祉人材センター】

住所：札幌市中央区北2条西7丁目1 かでる2・7 3階

電話：(011) 272-6662（相談専用） FAX：(011) 272-6663

相談を受付けていますので大いに活用してください。

道外の施設の求人動向は各都道府県の社会福祉協議会福祉人材センター・バンクに問い合わせてみてください。

③就職活動で困ったことがあったら・・・

【北海道労働局 職業安定部 職業安定課】

住所：札幌市北区北8条西2丁目1-1 札幌第1合同庁舎

電話：(011) 709-2311（代表）

就職活動や就業に際して、不当な扱いを受けることのないよう、各種相談に応じ、また、企業等への指導・助言を行う機関です。

もし、不利に取り扱われていると思ったら、相談先として利用してください。

④公務員試験の日程は国や各自治体から広報されています。HP等で確認してください。